

TOSHIBA EMI
SYNERGY INC.

Reader Organ



TOSHIBA EMI

『RenderOrgan』をお楽しみいただくために…………… Macintosh

🎵 セットアップ

以下の手順にしたがって、お手持ちのマッキントッシュの設定状況を確認してください。

(1) [QuickTime] のインストール

【680X0 Macintosh ユーザーの方へ】

【System Stuff】フォルダ内の [QuickTime] [Apple Multimedia Tuner] をシステムフォルダにコピーしてください。

【Power Macintosh ユーザーの方へ】

【System Stuff】フォルダ内の [QuickTime] [QuickTime PowerPlug] [Apple Multimedia Tuner] をシステムフォルダにコピーしてください。

(2) [メモリ] の設定

コントロールパネル内の [メモリ] を開き [キャッシュ容量] を [128K]、[仮想メモリ] を [切] に [32ビットアドレス] を [入] に設定してください。

※機種によっては [32ビットアドレス] の選択項目が存在しないものがあります。

※ Power Macintosh をお使いの方は、[モダン・メモリ・マネージャー] を [切] に設定してください。

(3) [モニタ] の設定

コントロールパネルから [モニタ] を開き、[256色モード (カラー)] に設定してください。

※上記①～③の操作をひとつでもおこなった場合は、必ずマッキントッシュを再起動してください。

(4) メモリ使用領域の確保

アップルメニューから“このマッキントッシュについて”を選び、[最大未使用ブロック] が [5000K] 以上あることを確認してください。

※最大未使用ブロックが [5000K] に満たない場合は、メモリを増設するか、他のアプリケーションを終了し、画面上のウィンドウをできる限り閉じるなどして、[最大未使用ブロック] を確保してください。

🎵 起動する

『RenderOrgan』のディスクをCD-ROMドライブに入れ、アイコンをダブルクリックすると、デスクトップ上に [RenderOrgan] [必ずお読みください] [System Stuff] の3つのアイコンが表示されます (図1)。

『RenderOrgan』のアイコンをダブルクリックして起動してください。スタート画面が表示されます (図2)。画面右下の [Exit] を選んでクリックしてください。『RenderOrgan』がスタートします。

※ハードディスクなどに [RenderOrgan] という名前をつけている場合には、別の名称に変更してください。

※ [必ずお読みください] の中には、ハードウェアの設定などに関する、とても大切な情報が記載されています。『RenderOrgan』をプレイする前に、必ずお読みください。

🎵 終了する

再生中に終了するには、キーボード上の [コマンド] キーと [Q] キーを同時に押してください。画面上にダイアログが表示されます (図3)。『RenderOrgan』が終了し、デスクトップに戻ります。

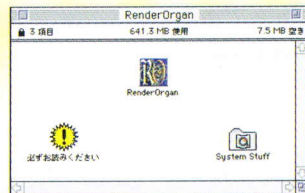


図1



図2

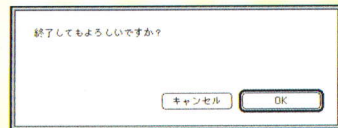


図3

🎵 セットアップ

以下の手順に従ってハードディスクにセットアップを行ってください。

(1) ディスプレイの設定を変更する
256色モード以外（16色モードや6万5千色モード、1600万色モードなど）にWindowsが設定されている場合は、[メイン]グループから[Windowsセットアップ]を実行し、以下の手順に従って256色モードに設定を変更してください。

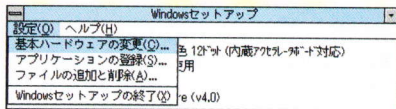


図1

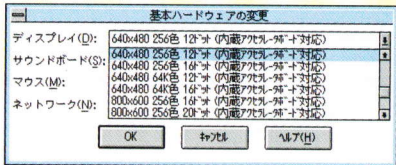


図2

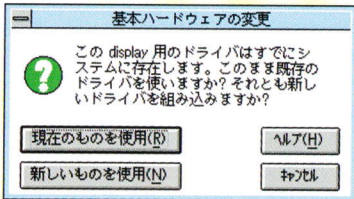


図3

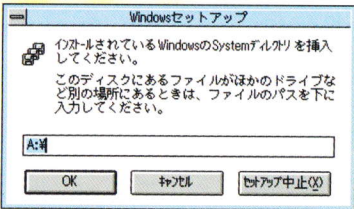


図4

① [Windowsセットアップ] ウィンドウを開き、[設定] メニューから、[基本ハードウェアの変更] コマンドを選んでください (図1)。

② [ディスプレイ] の項目には現在選択されている解像度と発色数が表示されています。右にある矢印をクリックすると選択できる設定の一覧が表示されます。この一覧から [640×480 / 256色] のものを選択してください (図2)。

③ 設定を変更したら、ダイアログボックスの [OK] をクリックしてください。

※これまでに一度この解像度に設定したことがある場合は、新しい設定に変更するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。その時は [現

在のものを使用] をクリックしてください (図3)。
※この解像度に初めて設定した場合は、Windowsのシステムディスクを指定のドライブに入れるよう求めてくる場合があります。その時はWindowsのディスクを入れ、[OK] をクリックしてください (図4)。

④ 設定が変更されたことを確認するダイアログボックス (図5) が表示されたら、[Windowsを再起動] をクリックしてください。

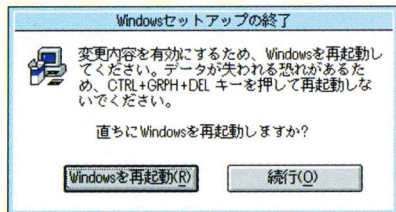


図5

(2) ファイル マネージャを起動する
ファイル マネージャを起動して、CD-ROM ドライブのアイコンを選択してください。ルートディレクトリを選択すると、ウィンドウ内に [setup.exe] というファイルが表示されます (図6)。

※もしファイル マネージャのドライブ選択アイコンの中にCD-ROM ドライブがない場合は、一度Windowsを終了し、CD-ROM ドライブのマニュアルに従ってCD-ROM ドライブのセットアップをした後、上記の手順を行ってください。

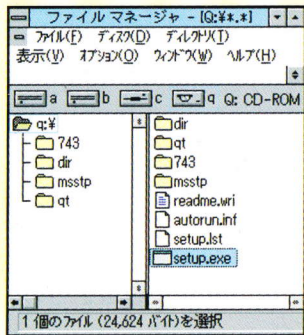


図6

(3) セットアッププログラムを起動する
① [setup.exe] をダブルクリックして起動してください。このセットアッププログラムでは、あらかじめ1メガバイトほどのファイルをCD-ROM からハードディスクにコピーする必要があります。初期設定では、コピー先のドラ

イブは [C:¥] に設定されています。[C:¥] にコピーして良い場合には、[OK] をクリックしてください。セットアップが始まります (図7)。

※ [C:¥] 以外のドライブにコピーする場合には、必ず1メガバイト以上の空きエリアのあるドライブを選択し、ドライブ名を書き換えてから [OK] をクリックしてください。

② セットアップが終了すると、プログラムマネージャの中に [SYNERGY] という名前のグループが作成され、その中に [RenderOrgan] [RenderOrgan WinG] [必ずお読みください] の3つのアイコンが表示されます (図8)。

※ [必ずお読みください] には、Windows の設定などに関するとても大切な情報が記載されています。「RenderOrgan」をプレイする前に、必ずお読みください。

(4) QuickTime for Windows 2.03 のインストール

[QuickTime for Windows 2.03] をお持ちでない場合には、セットアッププログラムを使用して、インストールすることができます。

① プログラムマネージャから [CD-ROM ドライブ:¥QT¥QTINSTALL.EXE] を起動してください。

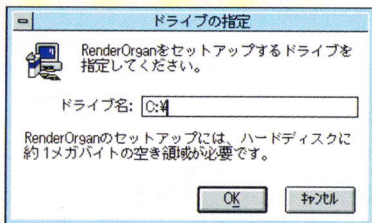


図7

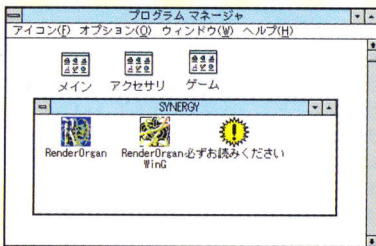


図8



図9

② [Begin Install] の項目のなかから、[Install] をクリックしてください (図9)。

③ [Check Existing Versions] の [Start] をクリックしてください。現在、インストールされている [QuickTime for Windows] のバージョンをチェックします。

④ チェックが終了し、古いバージョンがインストールされている場合、[Mark for Deletion] のウィンドウが開きますので、消去してもよい場合は [Delete] を、消去したくない場合は [Skip] を選択してください (図10)。

⑤ インストールの準備が整うと、[Complete Install] のウィンドウが開きますので、[Install] をクリックしてください。インストールが始まります (図11)。

※この方法で1回 [QuickTime for Windows] をセットアップすれば、次に「RenderOrgan」を起動する際には、上記の手続きを省略することができます。

🎵 起動する

① セットアップが終了したら、プログラムマネージャ以外のアプリケーションをすべて終了してください。

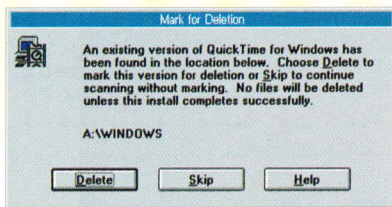


図10

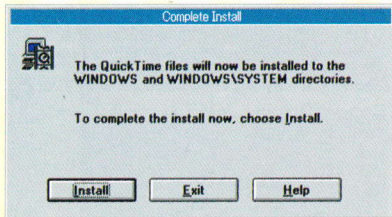


図11

② [SYNERGY] グループの中の [RenderOrgan] アイコンをダブルクリックして起動してください。スタート画面が表示されず(図12)。画面右下の [Exit] を選んでクリックすると『RenderOrgan』がスタートします。

🎵 終了する

再生中に終了するには、キーボード上の [CTRL] キーと [Q] キーを同時に押してください。画面上にダイアログボックスが表示されます(図13)。**[OK]** をクリックすると『RenderOrgan』が終了し、デスクトップに戻ります。



図12



図13

『RenderOrgan』をお楽しみいただくために…… Windows 95

🎵 起動する

ディスクをCD-ROMドライブにセットすると、ティーザースクリーンが表示されます(図1)。

① [Set up]
クリックすると、[QuickTime for Windows 2.03] のセットアッププログラムがスタートします。
※『RenderOrgan』を最初にプレイするときのみ、セットアップを行ってください。(☞P4～5「QuickTime for Windows 2.03のインストール」を参照してください)

② [Play]
スタート画面が表示されます(図2)。画面右下の [Exit] を選んでクリックすると『RenderOrgan』がスタートします。

③ [Help]
[ヘルプ] ファイルを表示します。

④ [Exit]
クリックすると、デスクトップに戻ります。



図1



図2

🎵 終了する

再生中に終了するには、キーボード上の [CTRL] キーと [Q] キーを同時に押してください。画面上にダイアログボックスが表示されます(図3)。**[OK]** をクリックすると『RenderOrgan』が終了し、デスクトップに戻ります。

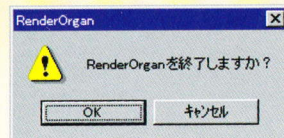


図3

音には力があると思われていた時代 音楽が世界を救うと信じられていた時代

525年 エーテルを利用した飛行機関が完成

532年 音楽による救済を目指す
神韻音典教会の浄化活動が始まる

535年 演奏機械（レンダーオーガン）が完成
神韻音典教会が布教活動に利用

537年 演奏機械を天周飛行させて布教を行う
「神韻音典浄化活動」が始まる

541年 1042機の新型オーガンを製造
「神韻音典浄化活動」が本格化

545年 世情不安、天変地異を背景に
神韻音典教会の排斥運動が始まる

546年 宗教論争が激化して、内紛に発展
「神韻音典浄化活動」を中止

548年 教会新勢力により
「大願神韻音創音」が始まる

550年 世界を救う音を求めて
レンダーオーガンが軌道にのる

『RenderOrgan』をプレイする



● 『RenderOrgan』を初期化する。

『RenderOrgan』をプレイすると [743.dat] というファイルが作成されます。このファイルの中に、どのフレーズを経験したかが記録されています。初期化したい場合には、このファイルを削除してください。

Macintoshの場合：システムフォルダ内に入っています。

Windows 3.1 および Windows 95 の場合： [C:¥Windows] (システムがCドライブにあると仮定した場合) に入っています。

● スタート画面

オープニング・ムービー後に表示される、本編に入るための画面です。この画面はエンディング・ムービー後に、再び表示されます。

『RenderOrgan』には、5段階のイベントと33のフレーズが用意されています。イベントをクリアして、エンディングまでプレイしたときに聴けるフレーズは6曲です。16回プレイすることにより、33のフレーズをすべて聴くことができます。ゲーム中で、新しいフレーズを経験するごとに、画面中央のオブジェクトのパーツがひとつずつ明るくなっていきます。明るくなっているパーツをクリックすると、フレーズが再生されます。

※最初にプレイするときにはすべてのパーツが暗くなっています。

移動したパーツが初期状態に戻ります。

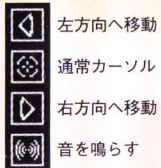
再生中の音楽をストップします。

スタート画面を終了し、本編に入ります。

● カーソルの種類

カーソルは3種類に変化します。クリックが有効な場合には、カーソルが反転します。

【Macintosh】



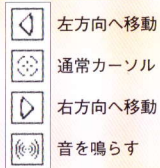
左方向へ移動

通常カーソル

右方向へ移動

音を鳴らす

【Windows】



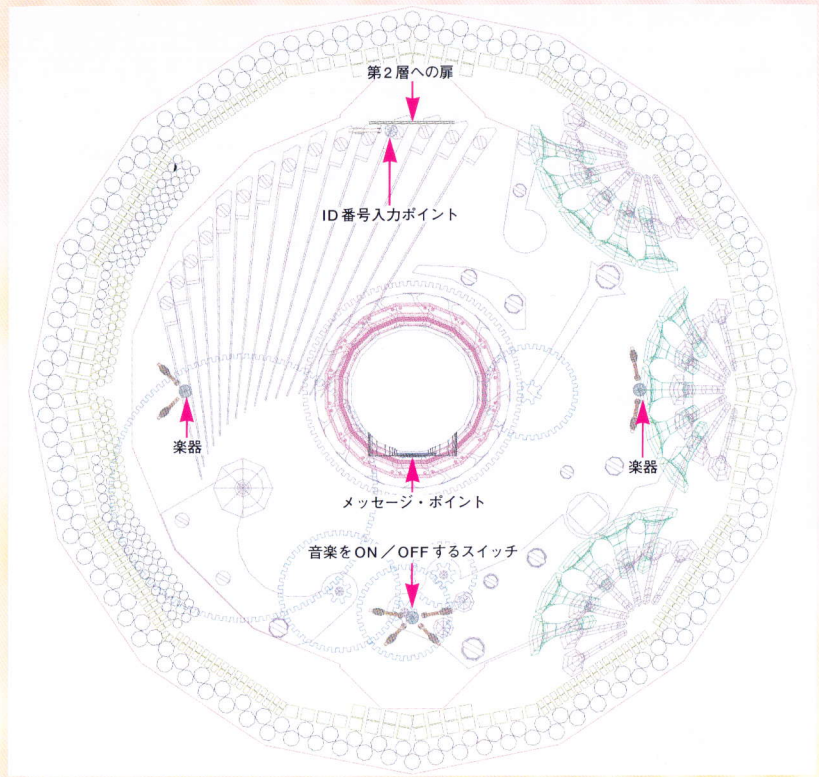
左方向へ移動

通常カーソル

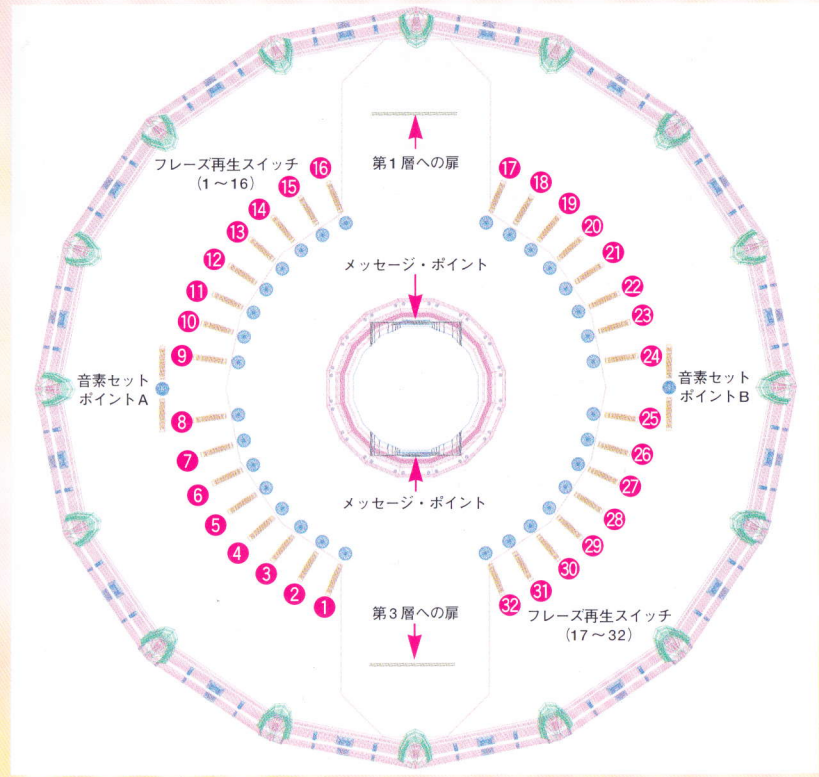
右方向へ移動

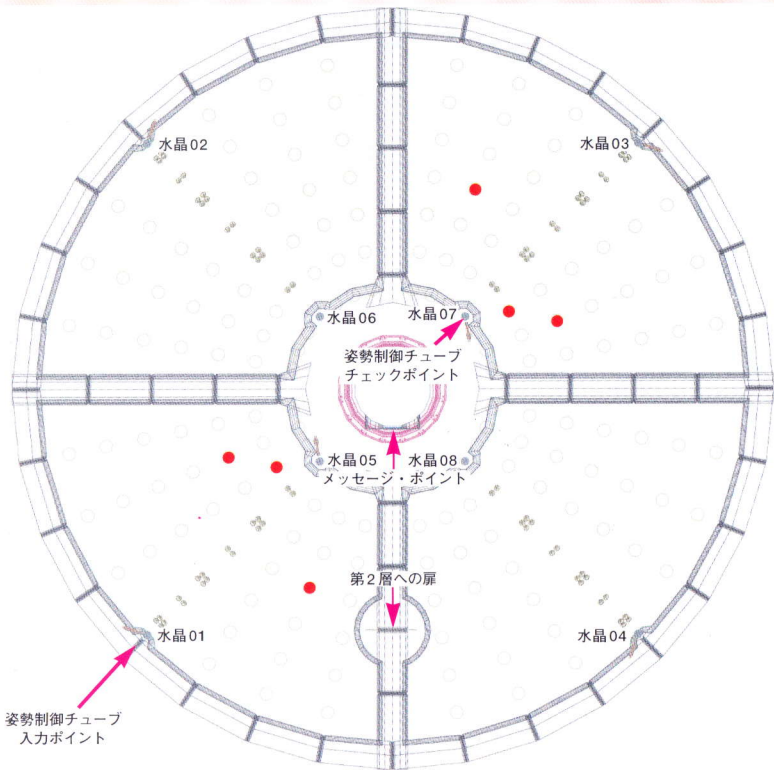
音を鳴らす

『RenderOrgan』の世界 ●第1層



●第2層





ゲームのポイント【第1層】

●メッセージ・スピードはマウスでコントロール



最初に足を踏み入れるのがこの第1層だ。正面の巨大な装置からメッセージを引き出せる。



クリックすると、メッセージが表示される。何かイベントをクリアするたびに、こまめにアクセスしてみよう。



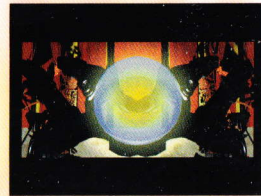
エーテル機関の一部が破損 姿勢制御が不可能 通常出

1回クリックすると、高速でメッセージがスクロールする。速度を落としたいときは、メッセージがスクロールしている間にマウスボタンを押してみよう。スピードが落ち、ぐっと読みやすくなる。

●音楽スイッチを見つけよう



第1層のフロアの中で、点滅しているのが音楽スイッチだ。イベントをクリアしたり、他層から戻ってきたときにはクリックしてみよう。



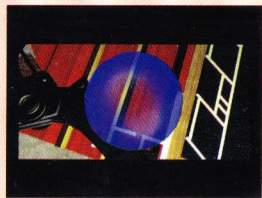
近くに寄って、青い水晶をクリックする。



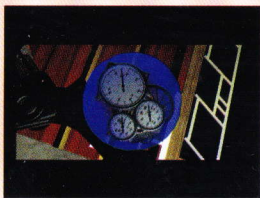
ムービーとともに、音楽がスタートする。

ゲームのポイント【第1層】

● ID 番号を忘れるな!



ID 入力ポイントは、第2層へと移動できる扉の近くにある。



ここで3ケタのIDを入力する。1～8までの数字はそれぞれ音と対応している。この番号は必ず覚えておこう。



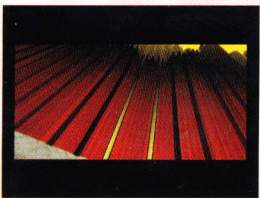
IDを確認 他層への移動が可能

IDの入力を完了(例: 111と入力)すると、メッセージが表示される。ID入力後、数字と対応した音が再生される。

● 扉はワープ・ゾーン



クリックして扉を開く。



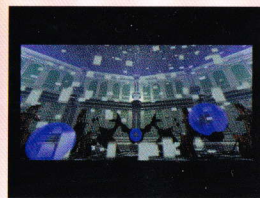
いったんぐり抜けてから、振り向く。



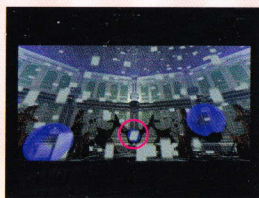
再び扉を開けると、他層への入り口が現れる。クリックすれば移動できる。もしキャンセルしたい場合は、この状態で開いた扉をクリックして、いったん閉めてしまえばOK。

ゲームのポイント【第2層】【第3層】

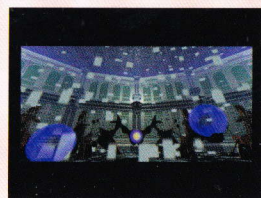
● 空中に浮かぶ音素はドラッグでセット



メッセージ中の「移動可能な音素」とは、空中に浮かんでいる白く発光しているオブジェクトを指している。



浮かんでいる音素の中から、ドラッグで移動できるものを探し、中央の水晶にセットする。



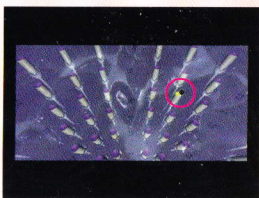
セットが完了した状態。音素セットポイントは2カ所あるので、忘れないように。

● 故障チューブはクリックでチェック



破損した姿勢制御チューブの位置を確認

ステージ全体が斜めにかしいでいるのは、この姿勢制御チューブの破損が原因だった! どのチューブが故障しているかをチェックするポイントだ。



破損チューブを調べるためには、チューブの上にマウスカーソルを置き、マウスのボタンをしばらく押したままにしておこう。正常なチューブは駆動音が断続的に聞こえるはずだ。



姿勢安定を確認

破損チューブを確認後、反対側の「入力ポイント」へ移動し、指定されたポイントにあるチューブをクリックすると、何かが起こる……?

⚠ 『RenderOrgan』 禁断のヒント集

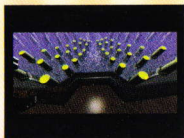
このページには、『RenderOrgan』の機密情報が掲載されています。自分の力ですべてを解きあかしたいと思う人は絶対に読まないでください。

● **イベント1**：姿勢制御チューブが故障したため、水平状態を維持することができない。姿勢制御チューブをコントロールして、傾いたステージを水平にする。

- ① 第1層のID入力ポイントでIDを入力する。
- ② 第2層を通過して第3層へ行く。
- ③ 第3層の「姿勢制御チューブチェック・ポイント」でチューブの故障箇所(3カ所→P14『RenderOrgan』の世界を参照)をチェックし、「入力ポイント」で入力する。
- ④ 第1層へ移動し、「音楽をON/OFFするスイッチ」を[ON]にする。



入力ポイントからチューブを見る。



チェック・ポイントからチューブを見る。

● **イベント2**：長期間の演奏停止により、レンダーオーガンの演奏機能が低下。時間経過を利用する、または楽器を使用して調整をする。

- ① 第1層のメッセージ・ポイントからメッセージを引き出す。
- ② 第1層にある楽器(→P12『RenderOrgan』の世界を参照)のイベント(2カ所)をクリアするか、または5分間待機する。
- ③ いずれかの方法でクリアするとフレーズの種類が変わる。



水晶の後ろにあるオブジェクトをクリックすると、音が鳴る。

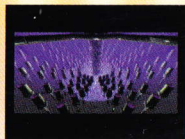


背後のパイプをクリックすると、音が鳴る。

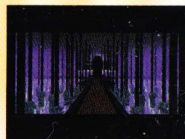
● **イベント3**：出力不足のため推進機能と演奏機能を同時に維持ができない。推進(飛行)を優先させるなら、第3層に備蓄してある液化エーテルを排出して自重を軽くする。演奏を優先させるなら、

演奏機関伝導チューブを液化エーテルに浸して活性化させる。

- ① 第3層へ移動し、ID番号の各桁の数字と対応する水晶をクリックする(→水晶の対応番号はP14『RenderOrgan』の世界を参照)。
- ② 入力したID番号によって、液化エーテルの排出か、演奏機関伝導チューブの活性化が決定される。



液化エーテルを排出する。



演奏機関伝導チューブが降下する。

● **イベント4**：イベント3をクリアしたことにより、レンダーオーガンの中に組み込まれた推力機関に障害が発生。演奏時の出力が不安定になったため、推力機関の初期化と再構築を行う。

- ① 第2層に移動し、音素セットポイントAとB(→場所はP13『RenderOrgan』の世界を参照)で、空中に浮かんだ音素をドラッグして、中央の水晶にセットする。



空中に浮かんだ音素をドラッグでセット。



[音楽をON/OFFするスイッチ]の中に映り込んでいる。

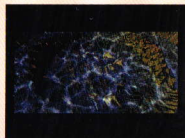
- ② 第1層に移動し、「音楽をON/OFFするスイッチ」を[ON]にする。

● **イベント5**：推力機関の再構築は終了したが、出力不足のため完全には復調しなかった。楽器が演奏するフレーズの音階を逆転して入力することにより、すべてが完了する。

- ① 第1層に配置されている楽器のイベント(2カ所)をクリアする。
- ② [音楽をON/OFFするスイッチ]を[ON]にするとエンディング。



水晶に映り込むエンディング。



残ったわずかなエネルギーは、演奏機能維持のために使用される。

Credits

Director
島田敬介 Keisuke SHIMADA

1966年生まれ。美大の建築科を卒業したのち、'92年株式会社シナジー幾何学に入社。同社制作の3Dアドベンチャー・ゲームCD-ROM『Yellow Brick Road I』『Yellow Brick Road II』（ディレクション：三浦洋幸）などにCG制作スタッフとして参加。空間のモデリング等を手掛ける。初のディレクション作品となる本作では、精緻に構築された空間にファンタジックなオブジェクトを配置し、独自の世界を創り上げることに成功している。

Computer Programming
Keisuke SHIMADA (Synergy)
Hideyuki AIDA (Synergy)

Package Design
Isao KONAKA (Synergy)

Special Thanks to:
Masakazu SATOH (Office intenzio)
Takashi TANIGUCHI (Synergy)
Masato YAMANE
Kiyoshi SHIN
Saori YOSHIMOTO

Press Agents
Tetsuko OHTA (Toshiba EMI)
Eiichi MIYAMORI (Synergy)
Jun'ichi SUGIE (Synergy)

Production Management
Yoshie IKEDA (Synergy)

Assistant Producer
Eri OSADA (Toshiba EMI)

Producers
Hirokazu NABEKURA (Synergy)
Masanori AWATA (Synergy)

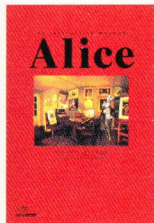
Executive Producer
Takahiko NAGASHIMA (Toshiba EMI)

Created by SYNERGY, Inc.

Manufactured and Distributed by TOSHIBA-EMI LIMITED.

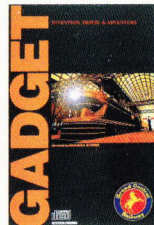
Copyright © 1995 SYNERGY, Inc. All rights reserved.

シナジー幾何学と東芝EMIがお贈りする マルチメディア・ラインナップ



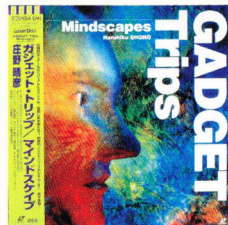
CD-ROM
Alice
アリス

コンセプトはインタラクティブ・ミュージアム。画家・金子國義、音楽家・加藤和彦、CGアーティスト・庄野晴彦の3人が創り上げた不思議の国を、心ゆくまで、ご堪能ください。1991AVAマルチメディアグランプリ・通産大臣賞受賞作品。



CD-ROM
GADGET
ガジェット

キーワードは「Invention」「Travel」そして「Adventure」。圧倒的な魅力を持つ庄野晴彦のグラフィックと、上野耕路の音楽が生み出した、レトロフューチャー・ワールド。リリース以来、常にトップチャートにランキングされる話題作。1993マルチメディアグランプリ・通産大臣賞受賞作品。



LD/VHS
GADGET Trips/
Mindscales
ガジェットトリップ/マインドスケイプ

『GADGET』の世界をフルCGムービーで再現。さらにパワーアップしたビジュアル&サウンドに、君は耐えられるか!? ディレクション・庄野晴彦、音楽・上野耕路、そしてサウンド・プロデューサーに田中新一という超豪華メンバーが贈るハイテンション・ドラッグ・ムービー。